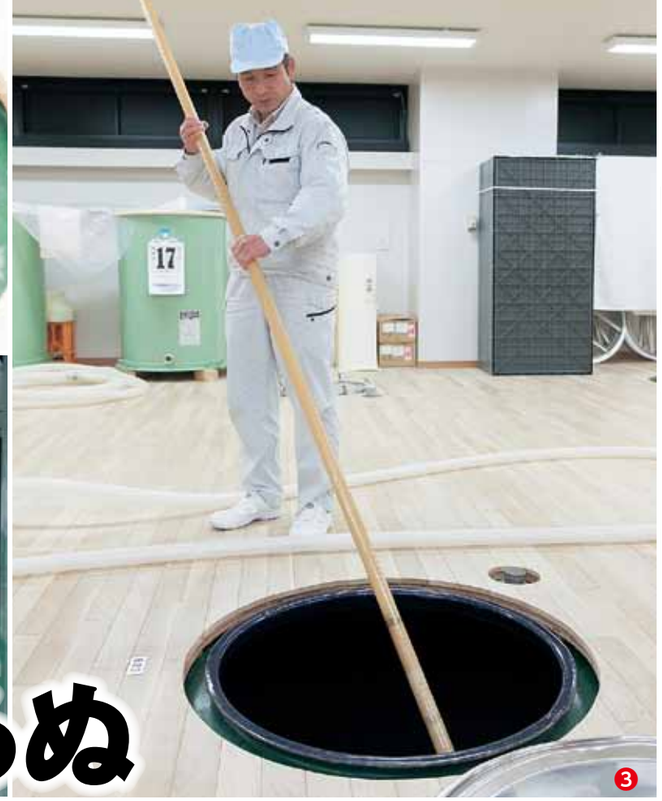

❶タンクに酒母を入れ、米と水を加えながら24～25日かけて酒を仕上げていく。
❷仕込み蔵の中では「雪っこ」「特別純米」などの代表銘柄が出荷の時を待つ。
❸今は寒仕込みの真っ最中。早朝から蒸米が始まり、蔵人は忙しい日々を送る。
❹❺仕込み後から出荷までタンク内の品質データをチェック。刻々と変化する酒の善し悪しを判断する材料の蓄積だ。
❻❼ヒノキの香りに満たされた麹室と、酒造りの要・酒母が保管された酒母室。
❽1階の瓶詰ラインは純米酒の充填を控え、器具を全部解体して徹底洗浄中。
❾❿40年以上のロングセラー「雪っこ」は出荷最盛期。200ml缶で日産1万本。
⓫酔仙の酒を紹介するコーナー。「地域の酒販店で買って欲しいから」本社に売店はない。
⓬名古屋市の被災地支援事業に賛同、名古屋で看護を学ぶ学生から届いたお礼状。

発信!いわての力こぶ

【支援企業紹介】陸前高田市

酔仙酒造株式会社

変わらぬ名酒を醸し、地域復興のいしずえに

三陸を代表する酒蔵として「酔仙」「雪っこ」など数々の名酒を造ってきた酔仙酒造株式会社。東日本大震災津波による本社工場の全流失から半年余りで酒造りを再開したニュースは、当時の岩手にどれほどの勇気を与えてくれただろう。「次は、気仙地方全体の復興だ」。新生・大船渡蔵で2度目の酒造りに挑む金野連社長は、力強く言い切った。

自社よりも地域への願いを込め瓦礫の中で発した“復興宣言”

大船渡市の山あいに立つ、堂々たる大屋根の蔵。せり出した玄関庇に掲げられた杉玉はすでに濃茶色に変わり、この蔵での酒造りが佳境であることを教えてくれる。

「10月1日は日本酒の日。この日に合わせて仕込む看板商品『雪っこ』の出荷に合わせて新しい杉玉を吊るすのが、以前からうちの慣習なんです。年も明け寒さ厳しい現在は、大吟醸などの寒造りの真っ最中。杉玉もだいぶ、いい色になりました」。

陸前高田市の本社工場の壊滅から丸3年。あの東日本大震災津波での悲劇から、酔仙酒造株式会社は奇跡ともいえるスピードで再興した。「やれることは確実にやってきた。これからは、酔仙が出来る方法で恩返しをしていかなくてはならない」。強い意志と決意を込め、金野連社長は続ける。

震災後、ニュース等で流れた同社の被災映像を覚えている人は少なくないはずだ。そして根こそぎ壊された跡地で、金野靖彦会長の発した「必ず復興する」の一言も。

「正直、私は倒産を覚悟した。でも会長は『酔仙が復興するといえば他の誰かが手を挙げるだろう』と考えた。それだけ、高田は絶望に沈んでいたんです」。“宣言”の裏にあった切実な願いを、金野社長は会長の言葉に感じとっていた。そして、その言葉に励まされ共感した人々が集まり、酔仙酒造の再興も始まったのである。

支援の輪の広がりで新蔵が完成地域の復興は「皆でやっぺし」

震災わずか半年後の8月には、同業者・岩手銘醸株式会社から一関市千厩町の蔵を借り受けて酒造りを再開、10月17日に待望の新酒「雪っこ」の初出荷にこぎつけた。

それと同時に金野社長らは工場再建のための事業計画を作成し、候補地探しに奔走。気仙地方を回り、陸前高田の工場と同じ水質を持つ地下水を氷上山北麓で発見した。そして国の復興事業補助金も決まり、翌24年3月には工場建設に着手する。「異例の早さは地元建設業者が『酔仙ならば』と結集してくれた事と、愛知県のトヨタ紡織株式会社がトヨタ生産方式に基づく工場建設などのノウハウを提供してくれたから。岩手銘醸も含め、関わった方々すべてのお陰です」。8月には「大船渡蔵」が完成し、仕込みがスタート。例年通り10月1日、復活第2弾の雪っこが世に出た。

現在、2年目の酒造りに入っている大船渡蔵。生産規模は高田の頃と比べおよそ半分の5000石（一升瓶換算で50万本）だが、「生産時期や杜氏の力量で生産量の増産は可能」と金野社長。醸造期間が約7ヶ月と長いため生系の酒を量産しつつ吟醸酒に時間をかけられること、さらに杜氏や蔵人が働きやすい機械配置や動線の構築がその根拠だが、それらは全て、陸前高田の蔵で実践してきたこと。失ったものは大きいが、「美酒伝承」という創業理念とともに、酔仙酒造の本質はなんら変わっていない。

当センターも長年、設備貸与や物産展事業等で同社を支援してきた。それに感謝しつつ、金野社長は「復活できない地元業者へは事業資金情報などの支援も必要」と話す。同社が地産地消の酒やコラボ商品に取り組むのも、地域全体の復興を願うからだ。

皆でやっぺし－新生・酔仙の決意である。

我が社の力こぶはコレ!

いい酒を造る技と心を次代の人に繋げていく

酔仙のベースは「美酒伝承」。地元の水と米で地元の食材に合う酒を、地元の蔵人の技と心で造っていく創業精神を、次の世代へと繋げていくのが使命です。そして気仙地域の復興のいしずえとなるべく、できることには何でも取り組んでいきます。

代表取締役社長 金野 連

会社名	酔仙酒造株式会社
本社	岩手県陸前高田市高田町字大石1-1
大船渡蔵	岩手県大船渡市猪川町字久名畑136-1
電話	0192-47-4130
代表者	金野 連
創業	昭和19年（1944）9月
従業員	38名
業種	日本酒の製造、販売
URL	http://suisenshuzo.jp/